

カルファイン

1万年分の「資源」を未来に!

「メイド・イン・岡山」の高品質石灰石メーカー

(岡山)

自 給率100%の天然資源として、日本において類稀な存在感を放つ石灰石。セメントの原料として知られる石灰石は、産業用製品のみならず医療や食品の分野にまで、品質に応じて多岐にわたる製品の原料として使われている。衣・食・住、思いがけないところでも私たちに馴染みの深いマテリアルだ。

この石灰石の埋蔵量を100億トン以上を有する企業が岡山県の中西部・高梁市に本社を置く株式会社カルファインである。



東 喜則 社長

「深さと面積から換算した金平工場(広島県神石郡・山宝工場 岡山県高梁市)の推定鉱量は、少なめに見ても合計で125億トンになります。現在の月間平均出荷量から換算すると、およそ1万年分に及びます」と東喜則社長は語る。同社の強みは、この無尽蔵な埋蔵量だけでなく、国内でも最高級クラスといえる「鉱質」にある。

鉱山の採掘方法は大きく分けて「坑内掘り」と「露天掘り」がある。同社の採掘方法である「坑内掘り」は残土・粘土などの不純物が少ない中で真白な塊が原料を採取するため、水洗処理が不要で品質も高く、使用ニーズは多岐にわたる。特に金平工場の石灰石は極めて白色度が高い結晶質

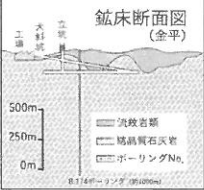
石灰・製紙や塗料・合成樹脂など高い品質を求める関係各社から注文を集める。

「例えば、自動車の部品には細かく厳しい規格があり、弊社の原料が規格として一番望ましい」という車種が実際にあります(東社長) 諸事情により、中国や東南アジアなど海外へ渡る企業も多い中で、常に最新の技術と開発力に尽力してきた同社は「品質」を通じて、これまで長く支えられてきた顧客と信頼を築いてきた。

同社は1955年、同和鉱業株式会社(現・DOW Aホールディングス株式会社)の全額出資により創業した金平鉱業㈱を前身として、2002年MBOにより独立。翌03年に現在の社名となった。以降、社業を牽引してきた横山宏志・前



カルファイン本社屋(岡山県高梁市)



豊富な埋蔵量を示す鉱床断面図

社長が昨年1月に急逝し、それまで先代を緻密にサポートしてきた東社長の誠実な人間性と、ストイックなまでの遂行力が信頼を集め、御カルファインとしての2代目社長に就任した。

「創業以来、先人たちがしっかりと築き上げた土台があり、我々世代に道しるべを与えてくださった。先代社長は熱慮・断行の方でした。亡くなった今こそ教わるべきが多く、私の中で存在感が(ご)に増していつております(東社長)

「加点」を伸ばす

東社長は就任後、働き方改革の一環として、人事査定・評価基準に「成果主義」を柔軟に取り入れた。幹部

に大きな裁量を与え、自らの課題に向き合う状況を導き、結果に対して「加点」を与えていく制度は、モチベーションを高める環境だ。 「社員にとって、大きなやりがいを感じる環境だ。」「賞罰」に対しては「一般的にも評価されたい状況があるように思います。年齢・性別を問わず「成果」を重視して、加点方式によって積極的な「前へ進もうと」する社員の背中を押ししていきたい(東社長)

社是の一つ「自律第一」は、「自ら考え、しゃべり、計画し、行動する」というもの。型人間を目指すというもので、同社が醸し出す社風を色濃く反映している。

「お客様のためになることであれば、上長の指示がなくても、各々が自分の判断で迅速に動く」という考え方は徐々に浸透し始めています(東社長)

そんな同社の「素顔」が昨年7月、不測の事態に真価を発揮した。平成最悪の水害と言われる西日本豪雨である。

当時、最も被害の大きい地域として倉敷市真備町の状況が連日報道される一方で、同社が本社を置く高梁

市周辺もまた、同様に深刻な被害を被った。「幸い社員とご家族の命に別状はありませんでしたが、水位は山宝工場までストレス」という危険な状況でした。

坑内に水が入り、崩落により鉱山道路がえぐられる事態で、現場までたどり着けない状況。しかし、翌日には私はもちろんのこと、幹部社員が現場に入り、若手社員が中心になり、4シフト

ラックにシヨベルを積んで遮断された道路に出向き、数日間にも及ぶ応急処置で、文字通り道を切り拓きました。一方、金平工場においては雨水により坑内水が激増し、最下層が水没しました。しかしながら、若手社員が中心になり、自分達の知恵力を出し合い、昼夜問わずポンプアップを進め、約1カ月で現状回復に努めることができた(東社長)

「産地競争」を 将来のビジョンに

「私たちの仕事は、常に危険を伴う一面があります。災害や保安については、保安衛生委員会を設け、30代・40代の社員が軸になって、恒久的な課題として細心の注意を払っています」と話す東社長は、人の上に立つ人間として、「義・礼・智・信」に加え、「勇・威」をモットーに挙げる。

「決断力には洞察と衆知さらには毅然とした態度と覚悟が必要。全てにおいて

と東社長は話す。近隣を走るJR伯備線が復旧するまでに1カ月がかり、道路の補修は現在も行われている。 「仕事でなく「使命」と心得ていないと、あのような咄嗟の行動はできないと思います。数ヶ月はかかるかもしれないと想定していた私たちの業務復旧はとも早かった。頼もしかったですね。うちには強者が揃っています(東社長)

「人も物も「メイド・イン・岡山」。価格競争ではなく「産地競争」が将来のビジョンです。いろいろな石灰石や重質炭酸カルシウムが日本中にありますが、「やっぱり岡山の良いのは、岡山でもカルファインの石灰や重質炭酸カルシウムは特に良いよ」と言われ続ける会社でありたいですね」と東社長は語る。(松)

【会社データ】
本社 岡山県高梁市松原通2-1-11-13
TEL 0866-121-5601
創立 1955年1月
資本金 300万円
従業員数 70名
売上 25億1000万円
事業内容 石灰石製造販売
http://www.calfine.co.jp



山宝工場(岡山県高梁市)



金平工場(広島県神石郡)



坑内掘りの様子は同社のプロモーションビデオ(YouTube)で見ることが出来る ※QRコード



金平工場の坑内



高品質の石灰石



西日本豪雨時の復旧の様子